



身近な人と一緒に考えよう

しょうちゅうこうせい りかつよう 小中高生のICT利活用

📖 GIGAスクール構想 📝

未来を創るみなさんにとって、ICTは鉛筆やノートと並び欠かせないものです。しかし、日本の学校におけるICT活用状況は、世界から大きく遅れていました。そこで、令和時代における学校のスタンダードとして、学校でのICT活用が当たり前である社会を作るために『GIGAスクール構想』が推進されています。

『GIGAスクール構想』のもとで、1人1台のタブレットなどを活用し、

- ✔ 世界中とつながって、いろいろな人たちの意見を聞くことや考えに触れることができる
- ✔ 写真や音声などを使って、わかりやすく自分の考えを伝えることができる
- ✔ 動画を撮影して、今までは、見るができなかった実験の途中や結果などを見ることができる

といった新しい学びをすることは、みなさんの可能性を広げてくれるはずです。

学校でもICTを安全安心に活用できるよう、以下のような点を心がけていきましょう！



児童・生徒のみなさんへ

- IDやパスワードは自分でしっかり管理しよう！ ※事例⑨で学べます。

GIGA スクール用端末は、1台1台別々のIDとパスワードで管理されています。忘れたら困ると、紙に書いて貼ったりしていませんか？ 誕生日や出席番号など、他の人が想像できるものにしていませんか？ 友達に教えたりしていませんか？ 年齢に関係なく、自分の端末とID・パスワードは、自分で守らなければなりません。

誰かがあなたのIDとパスワードを使えば、あなたの情報を盗み見たり、あなたになりすまして勝手な発言をしたりできてしまいます。逆に、勝手に他人のIDやパスワードを使った人は、「不正アクセス禁止法」違反となり懲りまたは罰金が科せられる可能性があります。そんな事態を防ぐためにも、複数の文字や数字を組み合わせて推測困難なパスワードを考え、しっかりと管理しましょう。もちろん、忘れたりしないように！

- 健康への影響にも気をつけながら利用しよう！

長時間の連続利用や遅い時間の利用は、視力や姿勢、睡眠などに影響すると言われています。30分を超えたら20秒くらい遠くを見て目を休める、夜〇時以降は使わないなど、工夫してみましょう。

- スマホやゲームも含め、おうちでインターネットを利用するためのルールを決めよう！

「家ではついダラダラ使ってしまう」という人もいます。おうちでの使い方に関わりがなければ、家族で話し合ってルールを考えましょう。そして、ルールが窮屈になったときは、再び話し合っ調整しましょう。



保護者・学校の先生・教育委員会の皆さまへ



ICTの利活用に向け注意すべき項目として、上記児童・生徒向け内容に加え、個人情報保護とクラウド活用、ICTの積極的な利活用などについて、学校や教育委員会宛にもチェックリスト形式でお知らせしています。詳しい内容は、以下URLのページに掲載されているPDFファイルからご確認ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_01350.html
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_01798.html

こどもがICT機器やインターネットと上手に付き合えるようになるには、大人による適切なサポートが重要です



例えば、類推可能なパスワードを用いていないか確認する、必要に応じてチャットの中身を先生や保護者が一定期間見られるようにする、発達段階に合ったフィルタリングをしっかりと設定するなど、学校現場や家庭のICT機器などの設定の見直しを行うことが挙げられます。

また、学校や家庭において、どのようにインターネットと関わっていくべきか話し合うことも大切です。自律的に、正しくICT機器やインターネットを使いこなせるようになるにはどうしたらよいか、子どもと一緒に考えてみませんか。

『StuDX Style (スタディーエクス スタイル)』について

1人1台端末の利活用をスタートさせる全国の教育委員会や学校に対する支援活動を展開するため、「すぐにでも」「どの教科でも」「誰でも」活かせる1人1台の活用方法に関する優良事例や対応事例などの情報発信・共有を随時行っているポータルサイトです。
<https://www.mext.go.jp/studxstyle/> →





身近な人と一緒に考えよう

年齢にあわせたツールや使い方の設定はどのようにすれば良いのでしょうか？

スマホのある生活の中で育ってきたZ世代、ネットで動画を楽しむことが特別ではなく育っているα世代、どちらの世代の子どもたちも、保護者世代とはデジタル機器やネットに対する感覚が全く違ってきます。

成長後に得た道具なら危険を意識することはできますが、**子どもたちにとって、スマホなどは本やテレビと同じ“当たり前の道具”で危機感は希薄。使い始めから高校生まで、子どもの安全を守るのは大人の役割**です。



スマホを持っていない子どもに大人のスマホを貸すのなら



普段大人が使っているスマホを子どもに使わせてあげることはよくあると思います。ただ、**専用スマホがない子どもに貸す場合、多くは年齢が低く、大人用をそのまま渡してしまうのはトラブルの元。一緒に使うのがベストですが、渡す前に小学生用フィルタリングを有効にできるよう、保護者のスマホにもフィルタリングの準備を！**

機種変更後の契約切れ端末や中古端末を使わせるなら

保護者の**お下がりや中古端末を子ども用として再利用**する家庭が増えています。家の中でWi-Fiに接続して使わせるのは、スマホを持たせる前の練習としても有効ですが、**ともするとフィルタリングなどの“年齢に合わせた環境設定”を忘れがち。**

無料で手軽な**OS事業者提供サービス**(右図)や、パソコンと同じ**フィルタリングサービス(アプリ)**を利用するなど、**使い勝手のよいものを選び安全な環境を設定してから**使わせるようにしましょう。

OS事業者が提供しているサービス	iOS	Android
子どもの機器で設定・操作 (対応OS)	スクリーンタイム iOS12以上	デジタル ウェルビーイング Digital Wellbeing Android10以上
保護者の機器から遠隔で設定・調整	ファミリー共有 スクリーンタイムの設定内で『ファミリーのスクリーンタイムを設定』より設定	ファミリー リンク 保護者向けとお子様向けそれぞれのアプリをダウンロードし、アプリ内で設定

もちろん、**中古ゲーム機の安全設定も忘れずに！** ⑧ OSのバージョンアップができないほど古い機器については、セキュリティ上の不安もあるので、子どもに自由に使わせる際は注意しましょう。

ルールづくりと相談しやすい環境づくりも忘れずに！

どんなルールが適切かは、発達段階、使い方、環境などによりまちまち。学校でも家庭でも話し合っ**て決め、調整しながら守ることが大切です。**

大人の感覚と子どもの感覚がまるで違うのですから、お互いの考えを知らないと収拾がつかえません。**年齢を問わず、約束は話し合いながら一緒に作ること。窮屈になったら守らないのではなく、話し合っ**て再調整**を繰り返しながら、自己管理できる大人を目指しましょう。**

✿ 大人と子どもの歩み寄り3つのポイント ✿

～おとな～	～子ども～
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 事情も聞かずに怒らない ✓ 心配しすぎて大騒ぎしない ✓ 何でも勝手に決めない 	<ul style="list-style-type: none"> → ✓ 素直にちゃんと話す → ✓ 困ったら相談する → ✓ 一緒に決めたことは守る

そして…お互いの意見や話に耳と心を傾けて聴き、お互いの理解を深めて良き相談相手に！

保護者の役割

* ネットが苦手なら、子どもに教えてもらえばいい。
* 人生経験が長いからこそできることもある。

こんな風に考えながら
子どもを優しく見守り続けましょう



身近な人と一緒に考えよう

じょうず りょう フィルタリングなどを上手に利用できていますか？

「ペアレンタルコントロール」でできる安全な利用環境づくり

こどもの安全のため**保護者がネット利用環境を整えてあげること**を「ペアレンタルコントロール」と言い、その代表が「**フィルタリング**」です。個別に利用を許可するカスタマイズや、長時間利用を防ぐ時間設定など、**本体設定やアプリでできることはたくさんあります**。目的に応じて柔軟に活用しましょう。（年齢が高くなれば、自分の力で利用をコントロールするためのツールとしても役立ちます）

有害なサイトなどへのアクセスやアプリの利用を制限したい

簡単に設定したい

モード設定を活用しましょう。（以下のカテゴリ名は一例です）

フィルタリングサービスやアプリには、「小学生モード」「中学生モード」などのわかりやすい推奨モードも設けられています。設定はそれらを選択するだけ。対象年齢に沿ったある程度のインターネット安全利用環境が整います。

小学生	中学生	高校生	高校生+
ファミリーゲーム	ファミリーゲーム	ファミリーゲーム	ファミリーゲーム
一般ゲームなど	一般ゲームなど	一般ゲームなど	一般ゲームなど
懸賞など	懸賞など	懸賞など	懸賞など
SNSなど	SNSなど	SNSなど	SNSなど
出会いなど	出会いなど	出会いなど	出会いなど

キメ細かく設定したい

カスタマイズ機能を活用しましょう。

アプリ（またはカテゴリ）の単位で閲覧や使用の可否を個別に設定することができます。



iOSのアプリ制限などでは、学年ではなく年齢区分(4+, 9+など)で設定する場合があります。
↑ 年齢区分の『数字+』は「〇歳以上」を表しています。

うちの子は小4だから 9+ ね!

中学生は 12+ か!

「長時間利用」を防ぎたい

利用時間設定で、スマホやアプリなどが利用できる時間(長さ)や時間帯を設定することができます。

課金や位置情報ほか

サービスやアプリによって様々な設定があります。目的に合わせて活用しましょう。



組み合わせるとこのような使い方ができます！

スマホを使い始めたばかり。安全な環境を保ちつつ、家族との連絡用のSNSだけは使いたい！

まずは、年齢に合った(または年齢より低い)モードを選択して多めに制限をかけます。そしてカスタマイズ(個別設定)機能で保護者が特定のSNSのみ使用許可をする方法がお勧めです。

基本は自由に利用しつつゲームの利用時間だけはしっかりコントロールしたい！

高校生モードなど、高めの対象年齢のモードを選択した上で、利用時間を設定できる機能を使う方法がお勧めです。

利用時間や課金などについて家庭のルールを設けて上手な活用を身につけたい！

話し合ってルールを決めたら、目につくところに掲げ、各種設定や調整ツール※4を活用する方法がお勧めです。レポート機能で使い方を見直しなどもできます。

※4 何にどれくらい利用したかの確認や、利用時間のコントロールなどが可能です。



デジタルウェルビーイング
Digital Wellbeing
[Android10以上]



スクリーンタイム
[iOS12以上]



保護者に代わり
こどものネット
利用を見守る!

スマホだけでなく、ゲーム機やタブレット、こどもに貸すことがある大人用のスマホやおさがりの機器などにも、ペアレンタルコントロールを忘れずに！

フィルタリングは青少年を違法・有害情報との不用意な接触から守り、安心・安全にインターネットを利用する手助けをするサービスです。例えるなら、ネットの世界に漂う「見えない危険」から身を守るための“マスク”。冷静さを欠いたアクセスに適度なブレーキをかけるだけでなく、見た目ではわかりづらい悪意の仕掛けがあるサイトなどへのアクセスを防いでくれる頼もしいツールです。(SNSに起因する犯罪被害児童の8割以上がフィルタリングを設定していなかったというデータもあります／警察庁調べ)

現在は携帯電話事業者をはじめ各社がフィルタリングサービスを提供しており、**年齢や家庭のルールに応じてカスタマイズすることも可能**です。

18歳未満が使用する端末へのフィルタリング設定は法律上の義務

青少年インターネット環境整備法*では、格安スマホ事業者(MVNO)を含む携帯電話会社とその販売代理店には、新規の携帯電話回線契約時および機種変更・名義変更を伴う携帯電話回線契約の変更・更新時に、次のような義務が課せられています。

青少年確認

契約締結者または携帯電話端末の使用者が18歳未満かどうか確認する

フィルタリングの説明

- 青少年に有害な情報の閲覧による危険
- フィルタリングの必要性とその内容について保護者又は青少年に説明する

フィルタリング有効化措置

通信契約とセットで販売される携帯電話端末などについて、販売時にフィルタリングソフトウェアやOSの設定を行う

*青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律（平成21年4月施行／平成30年2月改正法施行）

使用する端末に合ったフィルタリングの選択・設定を！

安全な利用環境づくりの基本は、Webとアプリの両方に正しい設定をすること。スマホやタブレットのOS、契約する携帯電話事業者などによって、利用可能なフィルタリングサービスが異なるので、以下の一覧表を参考にしながら、子どもが使用するスマホやタブレットに合ったフィルタリングサービスを使いましょう。

スマホのOS 携帯電話事業者		Android		iOS	
		Web	アプリ	Web	アプリ
ドコモ、KDDI(au)・UQ、ソフトバンク・ワイモバイル		※1 あんしんフィルター		あんしんフィルター	※2 スクリーンタイム
その他の携帯電話事業者 〔いわゆる“格安スマホ” “格安SIM”の事業者など〕		各事業者が提供するフィルタリングサービス もしくは、各種フィルタリングアプリなど ※3			

※1 Android 端末の一部の機種では、あんしんフィルターではなく、OSの機能や他のアプリ(例: Google が提供しているファミリーリンク)などを使用する必要があります。購入もしくは機種変更の際にご確認ください。

※2 iPhoneやiPadは、基本的にあんしんフィルターなどのフィルタリングアプリで制御できるのはWeb接続のみとなります。アプリに関するコントロールについては、Appleが提供しているスクリーンタイムなどを使用する必要があります。

※3 「iフィルター」などのフィルタリングアプリ、もしくはフィルタリング機能が備わっているセキュリティアプリが利用可能。なお、これらアプリは、あんしんフィルターが使えるスマホや契約の切れている古い機器などにも導入・活用できます。